

ニーズ・シーズ調査の進め方について

○ 総合防災技術推進会議の設置について	1
○ ニーズ・シーズ調査等の全体フロー（概要）	2
○ 令和8年度開催スケジュール	3
○ ニーズ・シーズ調査の実施方針（案）	4



令和8年6月
内閣府防災担当

総合防災技術推進会議

【全体的な実施方針について議論】

- 防災技術のニーズ及びシーズ調査の方針検討
→ 調査の対象や調査手法等の検討
- 研究テーマの検討
→ ニーズ・シーズ調査結果を踏まえた、技術開発の重要性の高い研究テーマを検討
- 技術開発推進の方策の検討
→ 研究テーマへの適切な推進方策（事前防災対策総合推進費、機能要求水準の提示等）を検討
- 社会実装の促進にむけた検討
→ 技術カタログ など

技術ニーズ・シーズ調査の
実施方針への助言

重要な研究テーマ等への助言

事務局

調査結果の報告

【各種調査を実施】

- ニーズ調査
→ 文献調査、自治体等へのアンケート調査、各団体等へのヒアリング調査を実施し、技術ニーズを整理。
- シーズ調査
→ 文献調査のほか、関係府省庁、民間企業、研究機関等へのヒアリング調査を実施し、技術シーズを整理。

【研究テーマに応じた推進方策を整理・実施】

- 事前防災対策総合推進費による重点的な支援
→ 関係府省庁や研究機関等との連携を強化し、防災技術の開発や、現場実装、先進技術の活用を推進。
- 民間等での研究開発及び普及の促進
→ 機能要求水準を提示することなどで、研究機関や企業の研究開発や普及を促進。



ニーズ・シーズ調査等の全体フロー（概要）

対応方針 1

○現場の防災ニーズと、防災分野以外を含む技術シーズから、技術開発の求められるテーマを特定・提示（※研究テーマの実装の難易度は様々）

調査事業



防災現場（自治体、民間事業者、住民団体等）での**新技術ニーズ**を調査・整理

CSTIや各省庁での調査結果も収集

産官学における**新技術シーズ**を、防災分野および他分野を対象に調査、整理（技術カタログ）

CSTIや各省庁での開発状況も省庁横断的に整理



例：ドローンポート
スマートメーター

ニーズおよびシーズを分類（災害フェーズ、用途分類、利用者等）し、俯瞰マップへ全体整理



ニーズおよびシーズを比較し、技術開発の必要性の高い研究テーマを抽出

対応方針 2

○各研究テーマを類型化（技術シーズの完成度等）。類型別に、効果的な促進事業を実施（基礎研究促進、実装支援、直接開発実施、民間開発促進）

施策

各研究テーマの特性を分析し類型化

各研究テーマの類型毎に、効果的な促進施策をそれぞれ実施

基礎研究促進型

・ニーズは強いが、シーズが未発達で基礎研究が必要

CSTIのSIP予算等で研究開始
（例：次期SIP防災のテーマに設定）
※防災庁では、開発ニーズを提示

実装支援（分野横断開発）型

・他分野シーズから他省庁等の防災ニーズへ機能拡張
・特定防災シーズを、他省庁の防災ニーズへ汎用化

防災庁の推進費により、
各省庁での開発を推進

実装支援（個別分野）型

・個別分野でのニーズとシーズがあり、研究継続が必要

各省庁の研究予算で、開発を継続
※防災庁では、開発ニーズを提示

民間開発促進型

他分野市場にシーズはあり、防災市場への誘導が必要

防災庁は、製品への**要求仕様**等を策定・提示するなど、情報提供

直接開発実施型

・ニーズに対応できるシーズがあり社会実装が可能

各省庁の事業予算で開発し実装
CSTIのBRIDGE予算等で実装促進
（民間投資の誘発や市場開拓を重視）

アウトカム インパクト 施策に
フィードバック

新技術の創出・普及

社会の防災力向上

施策の改善を検討
・ニーズ/シーズ調査方法
・テーマ設定の方法
・推進施策の手法 等

評価事業
開発動向を調査し
施策の効果を評価

次年度以降

○経年的にニーズ・シーズの状況を調査・整理し、研究テーマと類型、適用する促進事業等を更新。また事業評価（普及、防災力向上等）を行い、施策を改善



第1回会議（6/3）

- ・令和8年度有識者会議の開催趣旨、検討方針などの全体説明
- ・防災技術に係る技術ニーズ・シーズの調査の実施方針案に係る意見交換
- ・令和7年度推進費事業の成果報告

第2回会議（8/26）

- ・防災技術に係る技術ニーズ・シーズの調査 中間報告
- ・技術ニーズ・シーズのマッチング手法について意見交換

第3回会議（10/14）

- ・防災技術に係る技術ニーズ・シーズの調査 報告
- ・研究テーマについて検討
- ・推進方策等の検討方針案について意見交換

第4回会議（11/30）

- ・防災に関して研究開発・社会実装を推進すべき研究テーマを整理
- ・推進方策として、官民における推進や推進費で推進する研究課題について意見交換

※推進費の研究課題は、議論等を踏まえて内閣府で決定

第5回会議（3/10）

- ・令和9年度推進費事業の公募状況の報告
- ・今後の検討課題に係る意見交換



調査整理の考え方

■ 技術ニーズについて

- 多様な住民（男女、障害者等）、民間事業者（指定公共機関、一般企業等）、行政（自治体、国等）などの各主体にとって、防災分野のニーズを幅広く調査する
- 現場ニーズを、アンケートやヒアリングで調査する段階では、技術シーズとのマッチングの有無や、技術的な内容以外も除かずに意見を聴取する
- 技術ニーズの調査結果は、災害フェーズ、利用主体、用途など複数の視点で分類し、全体像のわかるように図示化し整理する
 - ※ 適宜、次年度以降にも、技術ニーズ調査を行うことも想定

■ 技術シーズについて

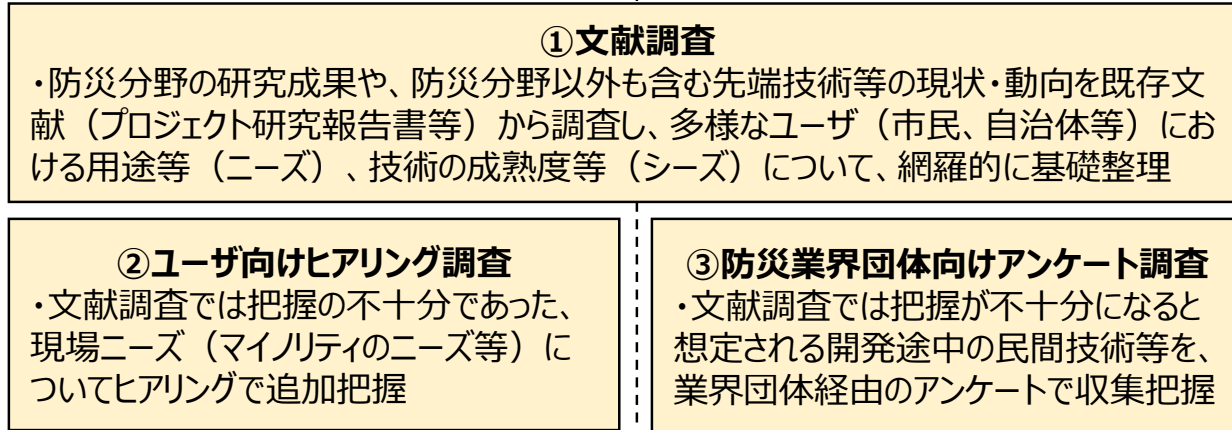
- 技術シーズの調査は、防災分野以外での先端技術等の開発動向も含めて調査する
- 技術シーズの調査では、技術の成熟度や、社会実装にむけた課題等も整理する
- 技術シーズの調査結果は、救援物資輸送や早期被害把握等の用途との関連性がわかるように図示化し整理する
 - ※ 適宜、次年度以降にも、技術シーズ調査を行うことも想定

ニーズ・シーズ調査の実施方針（案） 2/2



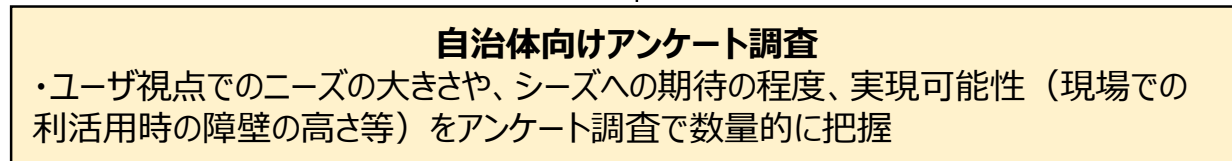
調査整理の流れ

STEP1 : ニーズ・シーズの 網羅的な基礎調査

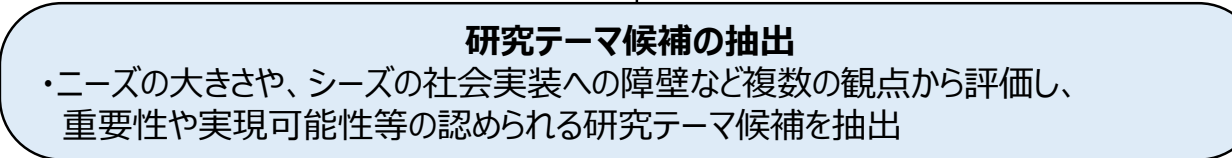


ニーズ・シーズの対比・分類整理を試行

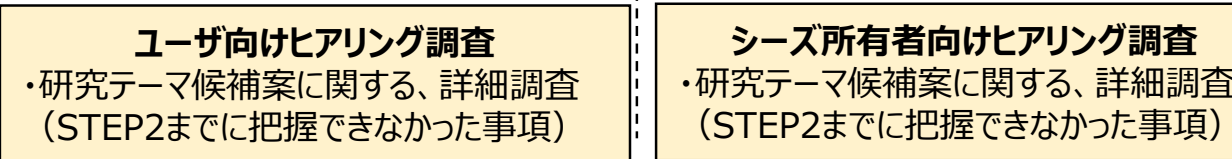
STEP2 : ニーズ・シーズの重要度 ・実現可能性等の調査



STEP3 : 研究テーマ候補の 抽出



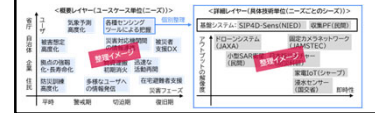
STEP4 : 研究テーマ候補への 詳細調査



研究テーマの選定、類型化、促進施策との関係付け

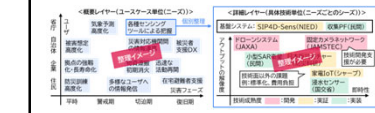
★第2回会議（8/26） ニーズ・シーズ調査 中間報告

- ・ニーズの俯瞰図、各ニーズに関連するシーズを図示した全体俯瞰図を試作
- ・技術要素の視点でも整理図を試作



★第3回会議（10/14） ニーズ・シーズ調査 報告 研究テーマ候補 提示

- ・第2回会議資料の俯瞰図を更新し、ニーズの大きさや実現可能性等の程度を追記
- ・研究テーマ候補も図示化



第4回会議（11月）以降⁵



- ニーズ調査の実施方針について
- シーズ調査の実施方針について
(調査手法、調査対象、分析視点など)